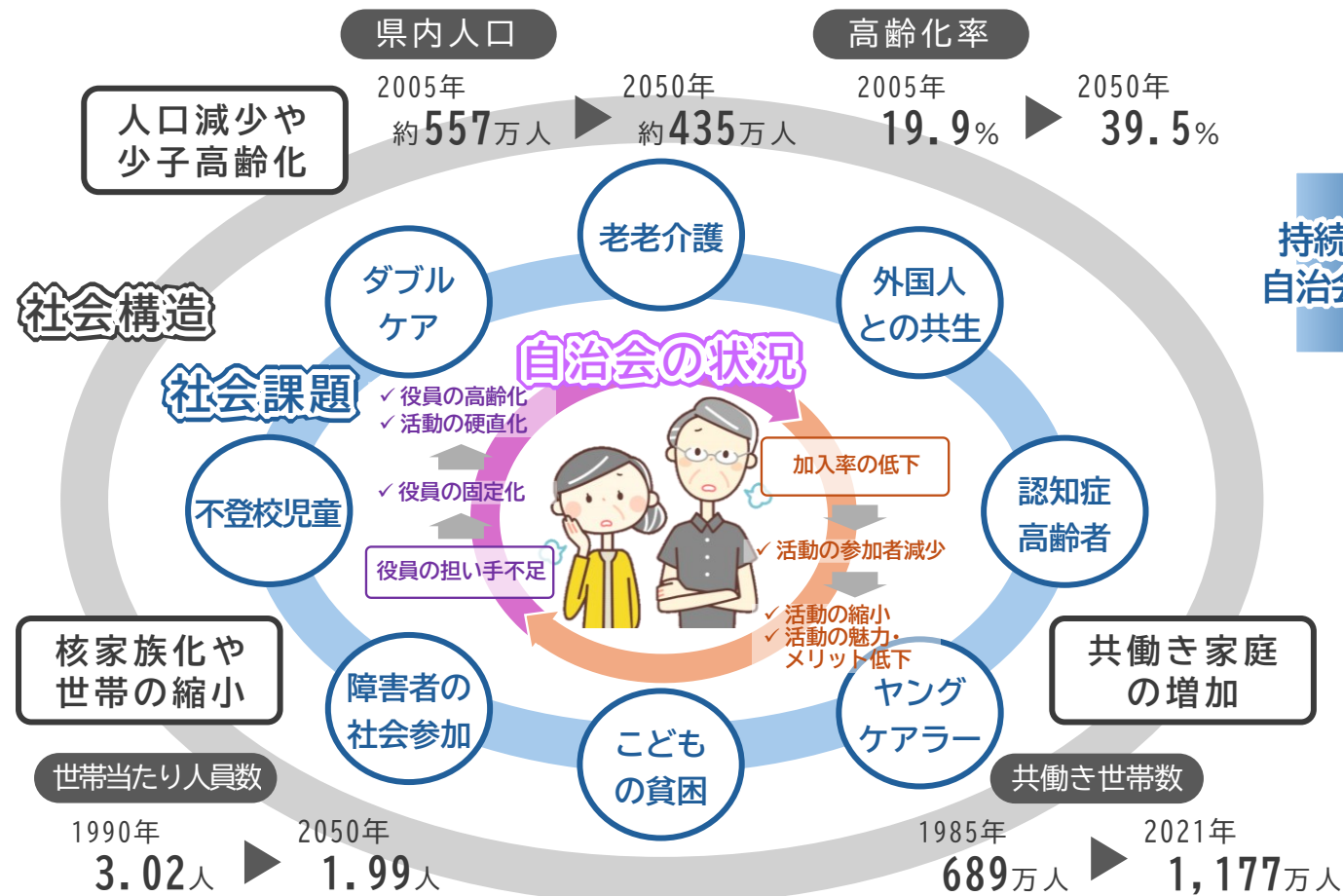


# 持続可能な自治会活動のあり方検討報告書（概要）

## 第1章 自治会を取り巻く環境

- 人口構造や家庭のあり様など社会構造が変容する中で、家庭の課題解決力が低下し、様々な社会課題が表面化
- 人と人との絆やつながりによって孤立しがちな家庭を支える共生社会を築く必要性から、セーフティネットの一翼としての自治会への期待の高まり
- 自治会への期待が高まる一方、自治会も加入率の低下や担い手不足に悩んでおり、自治会活動を持続可能なものに見直していくことが急務



## 第2章 取組の方向性

現代の家庭のあり様（核家族・世帯の縮小、共働き家庭）を前提とした取組

＜自治会への未加入理由＞

| 区分   | 主な未加入理由                                              | 取組の方向性                           |
|------|------------------------------------------------------|----------------------------------|
| 活動機会 | ・仕事や子育てで忙しい<br>・活動を強制されるのが嫌                          | 参画と協働（第2章①）                      |
| 役員負担 | ・役員が回ってくる<br>・就業状況等により役員を担えない                        | 役員の負担軽減（第2章②）                    |
| 活動内容 | ・活動内容が不明<br>・メリットがわからない<br>・加入しなくても困らない<br>・活動に魅力がない | 見える化・情報発信（第2章③）<br>活動の魅力向上（第2章④） |
| 加入方法 | ・勧誘されていない、加入方法がわからない<br>・自治会があることを知らなかった             | きっかけづくり（第2章⑤）                    |

### POINT

#### 1 参画と協働

- 地域活動の低下・硬直化が懸念される中、地域内外の多様な人や団体を巻き込むことが重要
- そのことで、これまでにないアイデアによる課題解決、地域力としての関係性・ネットワークの構築等につなげることが重要

#### 2 役員の負担軽減

- 現役世代を含め、誰が役員になっても担える活動へと不断に見直すことが必要
- 活動の縮小・効率化においては、役員間のコミュニケーションや回覧板等の情報共有や事務作業全般にデジタル技術を活用することは非常に有効

#### 3 見える化・情報発信

- 活動の様子や参加者の声などを情報発信することで、住民の理解が得られ、活動に参加する動機付けや行動変容につなげる

#### 4 活動の魅力向上

- アンケートや義務的な活動に娯楽的な要素を取り入れるなど、「こんな活動があったらいいな」「こういう活動に参加してみたい」という思いを汲み取ることも重要

#### 5 きっかけづくり

- 行事でのPRブースの設置、インターネット上での加入手続きや様々なチャネルを活用した接点づくり

## 第3章 事例紹介

5項目の取組の方向性に対応した自治会の取組を紹介

- |                  |                               |             |          |           |
|------------------|-------------------------------|-------------|----------|-----------|
| 1 参画と協働          | 2 負担軽減                        | 3 見える化・情報発信 | 4 魅力ある活動 | 5 きっかけづくり |
|                  |                               |             |          |           |
| 惣川自治会（西宮市）       | 次の役員に負担を残さないための“自治会活動のスリム化”   |             |          |           |
| 北本町自治会（伊丹市）      | 協力員制度による“ゆるやかな参画の輪”の拡大        |             |          |           |
| うぐいす台自治会（小野市）    | “他団体やボランティアとの協働”による地域課題の解決    |             |          |           |
| 高浜地区連合自治会（姫路市）   | デジタルを駆使した“自治会運営のスマート化”        |             |          |           |
| 東構区自治会（豊岡市）      | ICTの利用や高齢者の見守りなど“時代に即した活動”の展開 |             |          |           |
| 諸寄財産区管理協議会（新温泉町） | プロボノ人材の協力のもと“区ホームページでの情報発信”   |             |          |           |

## 第4章 まとめ

### ❖持続可能な自治会活動と各取組の関係

- 取組の方向性として示した5項目は、それぞれ独立した関係になく、相互に関連し合う関係
- 取組の方向性の基底には自治会活動の「デジタル化」があり、5項目に「デジタル化」を加えた6項目に対応した取組を進めることが必要
- 6項目を取組にあたり、加入率の向上や役員の担い手増加、ひいては持続可能な自治会活動へつながっていくといったストーリーを共有し、取組への理解や取組に参加する動機付けにしていくことが有効

### ❖ひょうごビジョン2050との関係

- 持続可能な自治会活動に向けた取組の方向性の推進は「躍動する兵庫」の実現に通ずる

